

山形美術館 令和4年度事業報告

概要

令和4年度の公益事業は、引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じながら実施した。春に「山形銀行所蔵 描かれたやまがたの四季」、夏に「ますむらひろし展」、秋には「日本画家・高嶋祥光—誰か知る心の花を」と「北国の叙情—高野元孝油絵展」、冬に「服部コレクション 山形が誇るフランスと日本の美術」を開催した。「描かれたやまがたの四季」を除く3事業は、「令和4年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業」の助成を受けた「山形県文化芸術交流発信事業」として実施した。さらに山形県民の美術振興を図る3県展を実施した。

収蔵品展事業においては、長谷川コレクション、服部コレクション、吉野石膏コレクションの作品をテーマを設け年間を通して展示し、収蔵品の魅力を紹介した。また創作活動を行う個人・団体に対する18の展示施設貸与事業を行った。

そのほかキャンパスメンバーズ制度に継続して取り組むとともに、収蔵品の貸出し協力、大学生の実習生受け入れ指導を行った。

これら公益事業関連の展覧会総入場者数は72,836人となった。昨年度87,016人と比較すると、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、企画展事業と収蔵品展事業で13,747人の減少、展示施設貸与事業で433人の減少、合計で14,180人の減少となった。

収益事業は、1階の「ブローニュ」の営業、およびミュージアムショップでの企画展や収蔵品展に合わせたグッズの取り扱いを実施した。

法人運営および施設管理では、適切な収蔵品管理に努め、また施設の荷物用エレベーターの改修工事を行うほか、外壁改修工事に着手するとともに、長期改修計画を検討した。

1. 公益事業

①企画展事業

山形県民はじめ広く美術愛好者に国内外の優れた美術作品および関連資料を鑑賞する機会を提供する以下の事業を行った。

4月2日—5月8日 山形銀行所蔵 描かれたやまがたの四季

山形銀行が所蔵する明治期から現代までの、高橋源吉や菅野矢一、今野忠一、真下慶治ら山形ゆかりの画家58人の作品88点を紹介した。変化に富む四季折々の山形の自然を、吾妻山や蔵王、月山、鳥海山、そして山形の母なる川—最上川などのモチーフごとに展示し作家の個性が響き合うように構成したほか、45年にわたる同行の「県内風景画シリーズカレンダー」も合わせて展示し、作家がどのような自然に魅了されたかを紹介した。

2日の開展式に合わせ、山形交響楽団メンバーによる金管三重奏コンサートを実施した。(入場者 6,711人)

7月15日—8月28日 ますむらひろし展

米沢市出身の漫画家ますむらひろし(1952-)の世界を、漫画原稿やカラーイラストなど約400点によって紹介した。特に初公開となる「銀河鉄道の夜・四次稿編」の漫画原稿や、代表作「アタゴオル」シリーズが注目を集めた。関連事業として7月15日の開展式に続き作家による作品解説のほか、作家によるアーティスト

トトーク(7月16、8月11日)とサイン会(7月16、17、8月11日)、「ヒデヨシと写真を撮ろう」(7月15、17、18、31、8月4、16、21日)、映画「イーハトーブ幻想—KENJIの春」上映(7月30、31日)などを開催。幅広い世代に愛されるますむらひろしの世界を多角的に紹介した。(入場者 17,978人)

9月3日—9月19日 第77回山形県総合美術展

山形県の美術振興と美術家のレベル向上を目指して毎年開催している県内最大の公募展。日本画、洋画、彫刻、工芸の4部門に搬入された523点を、橋本弘安(日本画)、奥谷太一(洋画)、中村義孝(彫刻)、三上亮(工芸)の4氏が厳正に審査。会場には、入賞・入選、審査員、委嘱、無鑑査の作品、東北芸術工科大学教員の招待作品など、合わせて451点を展示した。出品者の幅広い年代による独創性あふれる作品や、若い世代の斬新な感性が光る作品が目立った。第64回こども県展には、県内の園児、小中生から11,946点の応募があった。大阪教育大学教授・佐藤賢司氏が、作品から子供たちのつぶやきや、子どものやりたいことが表れている点を基準に審査し、3階に入賞・入選1,011点を展示。本年は県美展初となる各部門のギャラリートークを開催(9月4日設楽雅信[日本画]・菅井正明[彫刻]、10日庄田実[こども県展、11日小澤成光[洋画]・横倉晋也[工芸])し、鑑賞のポイントや審査員の講評を紹介し、美術を楽しんでもらうきっかけとした。(入場者 7,830人)

9月24日—10月10日 第47回山形県総合書道展

山形県内在住および出身者の書家、書道愛好家から広く作品を公募し開催した。今回は、漢字・かな・調和体・近代詩文・少字数・篆刻の6部門に、高校生から90代までの幅広い年代の書家・書道愛好家から、一般公募232点、役員・会友271点を合わせ503点の作品が搬入された。県内の書家・鈴木千岳、青柳祥雲、植松龍祥、高橋欽崖、齋藤昌園、野川正廣、渡邊大洲、高橋希翔、阿部葉苑の9氏による審査の結果、県知事賞など入賞13点、奨励賞15点、褒状30点、入選175点が厳正に選抜された。会場には入賞・入選作に審査員、役員、会友の書作を加え457点を展示。漢詩や近代詩、漢字一文字、象形文字など、文字の大きさや墨の濃淡や線の流れを工夫した個性あふれる作品が並んだ。9月24日に渡邊大洲氏、10月1日に鈴木千岳氏による作品解説会を実施し、多くの人に書の魅力や作品の良さに触れる機会とした。(入場者 2,507人)

11月3日—11月20日 日本画家・高嶋祥光—誰か知る心の花を

村山市出身で、戦後山形から日本画の振興に尽力した高嶋祥光の、従軍画家として中国に派遣され描いた従軍画卷や、山形の風物を題材に素朴な温かみのある屏風作品や絵日記など37点を展示した。山形に暮らし、自然や人々を見つめ続けた高嶋祥光の郷愁あふれる日本画の魅力を紹介した。(入場者 1,828人)

11月3日—11月20日 北国の叙情—高野元孝油絵展

東北の自然に魅了され、40年にわたり東北の冬景色に取り組む洋画家・高野元孝のペインティング・ナイフを使ったダイナミックな作品を中心に50点を展示した。降りしきる雪を独自の技法で描いた近作をはじめ、厳冬の雪国で生活する人々のぬくもりの表現や、北国の自然の魅力を紹介した。高嶋祥光の日本画とあわせ、東北を描き続けた二人の画家の表現や世界観の対比をしながら鑑賞する機会とした。(入場者 1,828人)

12月15日—2023年1月22日 服部コレクション 山形が誇るフランスと日本の美術

1985年の山形美術館リニューアルオープンを機に、当時の山形新聞社長で初代館長の服部敬雄氏のもと収集されたルオー、ピカソ、シャガールらと、ブリアンションや荻須高德などの当時のパリ画壇で活躍した現代作家らの絵画全60点に加え、県美展の審査員を務めた小倉遊亀、熊谷登久平、東山魁夷や片岡球子ら国

内作家の優品などをあわせ 81 点をテーマごとに紹介した。会期中の 12 月 17 日、1 月 7、14 日に担当学芸員によるギャラリートーク、1 月 8 日に加藤千明元館長による講演会を開催し、収集の背景や鑑賞のポイントを解説した。服部コレクションの作品を通して、伝統を受け継ぎつつ新たな表現を追求し続けたパリ画壇の多彩な展開に触れる機会とした。(入場者 3,290 人)

2月23日—3月21日 第57回山形県写真展

山形県写真展は、県内の写真愛好家の質的向上と相互交流を目的に 1967 年に第 1 回展を開催し、今年度で 57 回を迎えた。本展には、17 歳から 94 歳までの 455 名から 2,038 点の一般公募作品が搬入。日本写真家協会会長の写真家・野町和嘉氏による 2 日間にわたる審査によって、入賞 12 点、準入賞 10 点、努力賞 10 点、入選 428 点が選ばれた。会場には公募作品に加え、審査員と無鑑査作品、物故無鑑査の追悼作品など、計 479 点を展示。祭りや四季折々の風景、家族写真、動物写真など、モチーフや構図に独創性が溢れるバラエティー豊かな写真が並んだ。また、YouTube の当館公式チャンネルで、野町氏による審査講評などの動画を公開した。(入場者 5,545 人)

②収蔵品展事業

山形美術館では、日本の美術、山形関係の美術、フランス近代美術の 3 分野について、美術作品および関連資料の収集と調査研究を進めている。本年は、1 階第 1 および第 2 展示室において、長谷川コレクション、服部コレクション、吉野石膏コレクションを、テーマを設け通年にわたって紹介した。

フランス近代絵画を旅する 服部コレクション・吉野石膏コレクション

印象派を中心に、バルビゾン派からエコール・ド・パリまで、多様な作品が揃う「吉野石膏コレクション」と、現代フランス絵画の巨匠たちを中心とした 20 世紀フランス美術の「服部コレクション」を通して、19 世紀から 20 世紀後半までのフランス絵画の多彩な展開を核とした展示を行った。印象派、ポスト印象派、フォーヴィスム、キュビスム、抽象、シュルレアリスム(超現実主義)など、新しさを追求した近代美術の展開と戦後フランス絵画の伝統と革新が織りなす豊穰な響きあいを紹介した。(入場者 10,082 人)

4月2日—5月29日 印象派の光—吉野石膏コレクション—

ピサロ、シスレー、モネ、ルノワール、セザンヌなど 30 点

5月31日—8月28日 印象派を超えて

ピサロ、モネ、ファン・ゴッホ、マティス、ヴラマンク、シャガールなど 30 点

9月3日—10月30日 風景の中の人物

コロー、ミレー、ピサロ、モネ、ルノワール、ユトリロ、シャガールなど 22 点

11月3日—12月27日 吉野石膏コレクション：シャガールを中心に

コロー、モネ、ピサロ、ヴラマンク、ユトリロ、シャガール 9 点など、31 点

1月4日—3月26日 吉野石膏コレクションの魅力

マネ、セザンヌ、モネ、カンディンスキー、ピカソ、シャガールなど 31 点

紅花商人伝世の名品 長谷川コレクションの魅力

紅花商人ゆかりの二つの長谷川家から寄贈を受けた全 292 点で構成される日本美術「長谷川コレクション」を紹介する展示を行った。江戸から明治にかけての多彩な作品を、下記 7 つのテーマに沿って通年にわたり紹介した。(入場者 10,082 人)

4月2日—5月29日 水と緑と花を描く

蠣崎波響《四季風物図屏風》、狩野雅信《半時百図》など 10 点

5月31日—7月10日 屏風絵の世界

伝・英一蝶《町人図屏風》、狩野重信《職人尽図屏風》など 13 点

7月15日-8月28日 詩歌の魅力

松村呉春《梅林書屋図》、《賢人川涼之図屏風》など12点

9月3日-10月30日 奥ゆかしい書画の世界

高橋草坪《竹筍蜻蜓図》、富岡鉄斎ほか《諸作家貼交屏風》など9点

11月3日-12月4日 暮れゆく秋の風景

田能村竹田《浅絳山水図》、森川曾文《秋景山水雪景金閣寺図》など16点

12月6日-1月29日 めでためでの吉祥画

熊代熊斐《松鷲梅孔雀図屏風》、谷文晁《熊野舟行図》など13点

1月31日-3月26日 描かれる人物たち

谷文晁《慈母観音図》、狩野常信《大真王夫人梅小鳥柳小鳥図》など13点

収蔵品展事業による、本年度新収蔵品は寄贈3件である。県指定有形文化財の郷目貞繁「紙本著色瀟湘八景図巻」、1952年に県美展審査員を務めた中村琢二の油彩「最上の女」、寄託作品の牧野柿五郎「富士」を受贈した。今期末での寄託品を除く収蔵品件数は、基本財産収蔵品の一般正味財産(購入)505件、指定正味財産(寄贈)1,176件、合計1,681件となった。

③展示施設貸与事業

美術に関する創作活動を行っている個人および団体に対し、当館の展示室と展示用備品を貸与する事業を行った。本年度は、日展山形会展、山形県水彩画会展、創琢書道展、山形県民ふれあい書道展、示現会山形展、樗墨書院展、NHK デザインミュージアム 集めてつなごう日本のデザイン 山形展、山形市芸文協総合展、毎日書道展東北山形展、読売書法展東北展、山形県医家美術展、北展、東邦書道会全国展、墨華会書道展、誠筆書展、山形大学地域教育文化学部造形芸術コース卒業修了制作展、山形デザイン専門学校卒業進級制作展、山形県健康福祉祭美術展など、18の展覧会を開催した。

④その他

収蔵品を活用した事業や指導など以下の事業を行った。

1. 山形美術館キャンパスメンバーズ制度の実施

学校教育等における当館の有効活用を目的に、平成29年度より設けた「山形美術館キャンパスメンバーズ制度」を本年度は9校が利用。常設・企画展の常時入館無料のほか、授業での解説指導等を実施した。

2. 収蔵品館外貸出による他機関への協力

新潟市新津美術館で開催された「山形美術館所蔵 長谷川コレクション」に「奥の細道図屏風」など86点を貸し出したほか、「日本の中のマネ 出会い、120年のイメージ」(練馬区立美術館)「ピカソ 青の時代を超えて」(ポーラ美術館、ひろしま美術館)「開館40周年記念 岡田米山人と半江展」(三重県立美術館)「江戸絵画の美」(山寺芭蕉記念館)「パリ・オペラ座 響き合う芸術の殿堂」(アーティゾン美術館)「本と絵画の800年 吉野石膏所蔵の貴重書と絵画コレクション」(練馬区立美術館)など、他機関の企画展に対し収蔵品の貸出協力を行った。

3. 博物館実習生の受け入れと指導

博物館実習は、東北芸術工科大学5名、新潟大学、淑徳大学、宮城学院女子大学各1名、計8名をのべ6日間ずつ受け入れ、美術館の機能と業務概要、資料の保存管理、地域における美術館のあり方などについて指導した。

4. 美術教育普及活動

東北芸術工科大学芸術学部総合美術コースの松村泰三准教授と同コース3年の学生らが新海竹太郎や新海竹蔵などの彫刻についての鑑賞ガイドシートを作成。多様な視点から作品を楽しむツールとして展示室に設置した。

5. 「山形美術館で会いましょう」の連載

山形新聞の文化欄(毎週木曜日)に、コラム記事「山形美術館で会いましょう」を分担執筆し、美術館の企画展や収蔵品展の話題などを紹介した。

2. 収益事業

1階の「ブローニュ」において、コーヒーや限定ランチの提供により、鑑賞者の憩いの場となるよう努めた。また美術関係の書籍やグッズを販売するコーナーでは、展覧会図録や関連グッズなどの販売物を引き続いて取り扱った。

3. 法人運営および施設管理

新型コロナウイルス感染症対策を実施するほか、収蔵品や企画展開催中の作品管理のため温湿度の管理、荷物用エレベーターの改修工事のほか、令和5年度夏の完成を目指し外壁工事改修に着手した。また、今後の施設の維持活用のための長期改修計画を検討した。

4. 成果と課題

令和4年度は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止に対応しながら、山形ゆかりの漫画家や画家の展覧会のほか、山形美術館のフランス近代絵画の中心をなす服部コレクションの展示など、さまざまな分野の企画展を実施した。さらに県内の美術愛好家を対象とする3県展に加え、長谷川コレクション、服部コレクション、吉野石膏コレクションをテーマごとにその魅力を紹介するなど、所定の成果を収めることができた。

広報についても、ホームページ、フェイスブックやツイッターに加え、企画展の動画配信によって、企画展やイベントの情報を発信し、事業の周知に努めた。引き続き地域機関との連携を図り、優れた芸術に触れることのできる芸術創造拠点として、地域の文化振興に努めていく。

施設管理については、懸案であった2基のエレベーター改修ができ、円滑な美術館運営に資している。また、外壁改修についても着手することができた。施設全体として老朽化が進んできていることもあり、今後とも適切な対応に努めていく。

令和4年度 開催展覧会と入場者数

山形美術館

[企画展]

事業名	期間	入場者数					主催、共催、後援など	備考
		一般	高・大生	小・中生	会員・招待	計		
山形銀行所蔵 描かれたやまがたの四季	4月2日～ 5月8日	4,249	85	123	2,254	6,711	山美、山新、山放、山形県、県生涯学習文化財団、県教委、山形市、山銀	4月2日開展式、担当学芸員によるギャラリートーク、山形交響楽団メンバーによる金管三重奏実施。
ますむらひろし展	7月15日～ 8月28日	11,954	411	1,398	4,215	17,978	山美、山新、山放、山形県、県生涯学習文化財団、県教、山形県芸術文化協会、山形市、山形市教委、山形市芸術文化協会、アダチ伝統木版画技術保存財団、風呂猫、アドシステム	7月15日開展式、ますむらひろし氏による作品解説。7月15、17、18、31日、8月4、16、21日「ヒデヨシと写真を撮ろう」。7月16日、8月11日ますむらひろし氏によるアーティストトーク。アーティストトーク当日および7月17日にはますむらひろし氏のサイン会。7月30、31日映画「イーハトーブ幻想～KENJiの春」上映。
第77回山形県総合美術展	9月3日～ 9月19日	4,452	113	623	2,642	7,830	山美、山新、山放、県美術連盟、山形県、県生涯学習文化財団、市教委、県芸術文化協会、県造形教育連盟、べんてる	橋本弘安(日本画)、奥谷太一(洋画)、中村義孝(彫刻)、三上亮(工芸)の4氏による審査。第64回こども県展を併催。9月3日授賞式開催。
第47回山形県総合書道展	9月24日～ 10月10日	1,012	45	47	1,403	2,507	山美、山新、山放、県総合書道会、山形県、県生涯学習文化財団、県書道連盟、県教委、山形市、市教委、県芸術文化協会	鈴木千岳、青柳祥雲、植松龍祥、高橋欽崖、齋藤菖園、野川正廣、渡邊大洲、高橋希翔、阿部葉苑ら9名による審査、9月24日渡邊大洲氏、10月1日鈴木千岳氏ギャラリートーク、10月10日授賞式開催。
日本画家・高嶋祥光 —誰か知る心の花を	11月3日～ 11月20日	1,102	60	25	641	1,828	山美、山新、山放、山形県、県生涯学習文化財団、山形市	
北国の叙情 —高野元孝油絵展	11月3日～ 11月20日							
服部コレクション 山形が誇る フランスと日本の美術	12月15日～ 1月22日	1,807	365	66	1,052	3,290	山美、山新、山放、山形県、県生涯学習文化財団、山形市、山形ランドホテル	12月17日、1月7日、14日に担当学芸員によるギャラリートークを実施。1月8日山形美術館元館長加藤千明氏による講演会開催。
第57回山形県写真展	2月23日～ 3月21日	2,177	292	84	2,992	5,545	山美、山新、山放、県写真連盟、山形県、県生涯学習文化財団、県教委、山形市、市教委、県写真材料商組合	2月10日、11日に写真家・野町和嘉氏による審査。野町氏による審査講評動画を当館YouTube公式チャンネルで公開。3月21日授賞式開催。
企画展 計(A)		26,753	1,371	2,366	15,199	45,689		

[収蔵品によるテーマ展]

フランス近代絵画を旅する 服部コレクション・ 吉野石膏コレクション	4月2日～ 3月26日	4,370	484	267	4,961	10,082	山美、山新、山放、山形県、 県生涯学習文化財団、山形市	
紅花商人伝世の名品 長谷川コレクションの魅力								
収蔵品によるテーマ展 計(B)		4,370	484	267	4,961	10,082		

館主催展計 (C=A+B)		31,123	1,855	2,633	20,160	55,771		
---------------	--	--------	-------	-------	--------	--------	--	--

令和4年度 開催展覧会と入場者数

山形美術館

[展示施設貸与事業など]

事業名	期間	入場者数					主催、共催、後援など	備考
		一般	高・大生	小・中生	会員・招待	計		
山形県水彩画会展	5月11日～ 5月15日	647	-	-	-	647	山形県水彩画会	
日展山形会展	5月18日～ 5月29日	1,234	-	13	818	2,065	日展山形会、山形新聞・ 山形放送	
創琢書道展	6月2日～ 6月5日	473	-	-	-	473	創琢書道会	
山形県民ふれあい書道展	6月23日～ 6月26日	662	11	52	1,007	1,732	山形県民書道会	
示現会山形展	6月29日～ 7月3日	264	14	9	563	850	示現会、示現会山形支部	
樺墨書院展	7月6日～ 7月10日	1,083	-	-	-	1,083	樺墨書院	
DESIGN MUSEUM JAPAN 山形展	10月12日～ 10月16日	676	-	-	-	676	NHK山形放送局	
山形市芸文協総合展覧会	10月12日～ 10月16日	2,192	-	-	-	2,192	山形市、市教委、市芸術 文化協会	
毎日書道展東北山形展	10月19日～ 10月23日	268	23	23	1,522	1,836	毎日新聞社、毎日書道会	
読売書法展東北展	10月26日～ 10月30日	275	10	8	1,098	1,391	読売新聞社、読売書法会	
山形県医家美術展	11月16日～ 11月20日	451	-	-	-	451	山形県医師会	
北展会員会友展・公募展	11月23日～ 11月27日	583	-	-	-	583	東北現代美術協会	
東邦書道会全国展	12月2日～ 12月4日	426	-	-	-	426	東邦書道会	
墨華会書道展	12月9日～ 12月11日	661	-	-	-	661	墨華会	
誠筆書展	1月26日～ 1月29日	606	-	-	-	606	誠筆会	
山形大学地域教育文化学部 地域教育文化学科文化創成 コース卒業研究作品展	2月1日～ 2月5日	436	-	-	-	436	山形大学地域教育文化学 部地域教育文化学科文化 創成コース	
山形デザイン専門学校 卒業進級制作展	2月10日～ 2月12日	385	-	-	-	385	山形デザイン専門学校	
健康福祉際美術展	2月17日～ 2月18日	572	-	-	-	572	山形県社会福祉協議会 山形県老人クラブ連合会	
展示施設貸与事業計(D)		11,894	58	105	5,008	17,065		

全展覧会 総計(E=C+D)		43,017	1,913	2,738	25,168	72,836		
----------------	--	--------	-------	-------	--------	--------	--	--

令和4年度新収蔵品リスト

令和5年3月31日現在

○寄贈

作者名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)
郷目貞繁	瀟湘八景図巻		紙本着色	27.5×264.0
中村琢二	最上の女	1961	キャンヴァス・油彩	90.9×72.7
牧野柿五郎	富士	1968	キャンヴァス・油彩	130.0×193.0

※以上の美術品3件を基本財産収蔵品(不可欠特定財産)とする。

令和4年度収蔵品貸出一覧

作者名	作品名	借受館又は借受者	貸出事由	貸出期間
ミロ	シウラナ村	Bunkamura ザ・ミュージアム 愛知県美術館 富山県美術館	ミロ展ー日本を夢みて	1/26-9/28
葛飾北斎	北斎漫画 201点	水野美術館	浦上コレクション 北斎漫画展	4/5-6/2
与謝蕪村	奥の細道図屏風 など86点	新潟市新津美術館	山形美術館所蔵 長谷川コレクション展	5/22-7/29
ヴァン・ドンゲン	座る子供	パナソニック 汐留ミュージアム	キース・ヴァン・ドンゲン展	6/30-10/14
マネ	イザベル・ルモニエ嬢の肖像 など4点	練馬区立美術館	日本の中のマネ 出会い、120年のイメージ	8/24-11/18
ピカソ	マリ＝テレーズの肖像	ポーラ美術館 ひろしま美術館	ピカソ 青の時代を超えて	9/7-
岡田半江	米法山水図 溪村訪友図	三重県立美術館	開館40周年記念 岡田米山人と半江展	9/15-11/17
谷文晁	海鶴蟠桃図 など4点	山寺芭蕉記念館	江戸絵画の美	9/29-12/2
ドガ	踊り子たち、ピンクと緑	アーティゾン美術館	パリ・オペラ座ー 響き合う芸術の殿堂	10/7- 2023.2/21
ピサロ	ポントワーズの橋 など30点	練馬区立美術館	本と絵画の800年 吉野石膏所蔵の貴重書と 絵画コレクション	2/7-
セザンヌ	マルセイユ湾、レスタック近 郊のサンタンリ村を望む	DIC川村記念美術館 宇都宮美術館 ふくやま美術館	芸術家たちの南仏展	2/21-

令和 4 年度収蔵品貸出一覧

椿椿山	足利遊記	板橋区立美術館	椿椿山展 軽妙淡麗な色彩と筆あと	3/1-
-----	------	---------	---------------------	------